

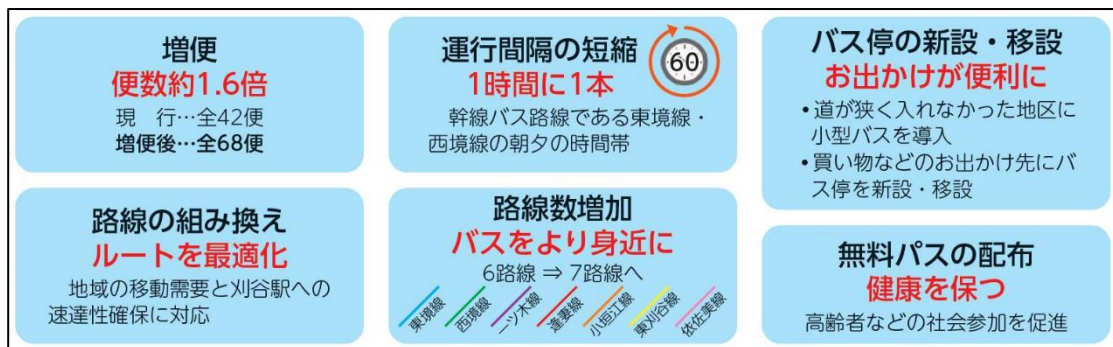
有料化の考え方（令和7年6月15日号市民だより抜粋）

■市民と共に創る「かりまる」

「かりまる」をより便利にするため、市民アンケートや市民との意見交換会などを実施し、地域の移動需要や特性に応じた再編案を共に創っていく中で、運行本数の増便、待合環境の充実、スーパーなどへのバス停設置などの意見を多くいただいています。

これらの声に応えるために「公共施設を連絡するバス」から市民ニーズに合った「市民の日常の暮らしを支えるコミュニティバス」へと生まれ変わります。

■ココが便利に



■利便性向上と有料化

「かりまる」を主たる移動の手段としている人の割合は7.2%と、利用者が限定されていることから、より多くの市民に利用していただけるよう再編します。

市民アンケートや意見交換会では、利便性が向上するのであれば有料とすることに賛成との意見を多くいただいています。

今後も人件費や燃料費などの高騰が見込まれる中、より便利で使いたいと思える持続可能な「かりまる」とするため、令和8年2月から利便性の向上に合わせて有料化します。